

## コール・トレンド

### —統計が語る石炭需給・価格の動向— ～2013年の輸出入実績から変化・傾向を読む～

電力・石炭ユニット 担任・理事 森田 浩仁

今月号では豪州、南アフリカの市況、我が国における入着価格の動向についてお伝えし、併せて主要貿易国の2013年の石炭輸出入実績から最近の変化・傾向を読み取ることにする。

#### 1. 豪州、南アのスポット価格と我が国着価格

##### (1) 豪州、南アの一般炭実物取引価格の動向 (2013年4月～2014年3月)

—2014年に入り再び下降をはじめたスポット価格—

図1. は豪州ニューカッスル (NC) の2013年4月から翌2014年3月におけるスポット実物取引の成約価格を時系列的に示したものである。

NCにおいては、2013年4～12月までに173件、2014年1～3月には64件、合計237件のスポット取引が成約した。

図1.で囲みの中に示された数字は、当該月の最終取引の価格を示したものである。

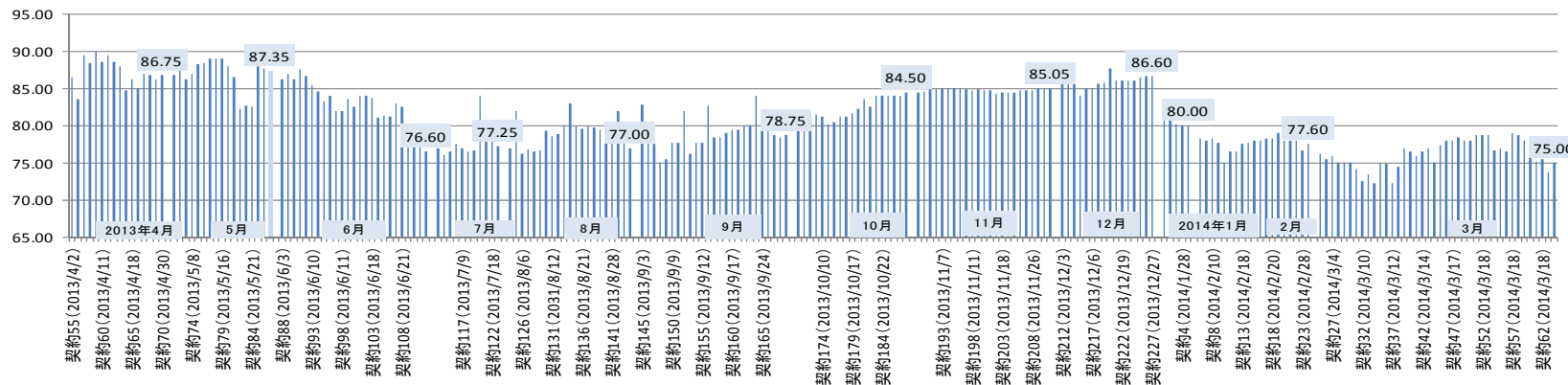
2013年8月の最終取引が77.00 US \$/トンをつけた後に上昇に転じ、9月78.75 US \$/トン、10月84.50 US \$/トン、11月85.05 US \$/トン、12月86.60 US \$/トンと上昇傾向で推移した。しかし、2014年に入ると再び下降に転じた。2014年1月の最終取引は80.00 US \$/トン、2月77.60 US \$/トン、そして3月は75 US \$/トンをはさんだレベルで推移し最終取引は75.00 US \$/トンとなった。

このようなスポット価格の推移を反映し、わが国電力会社との新規契約価格は2013年10月起こし価格85.80 US \$/トンから2014年1月起こしは87.40 US \$/トンへと1.60 US \$/トン上昇したが、2014年4月起こし価格は81.80 US \$/トンへと5.60 US \$/トンも下げたものとなった。

南アフリカリチャーズベイ（RB）積みの取引（図 2.）は、2013年4-12月で162件、2014年1-3月には75件、合計237件のスポット取引が成約した。NCにおけるスポット成約数と同数であった。

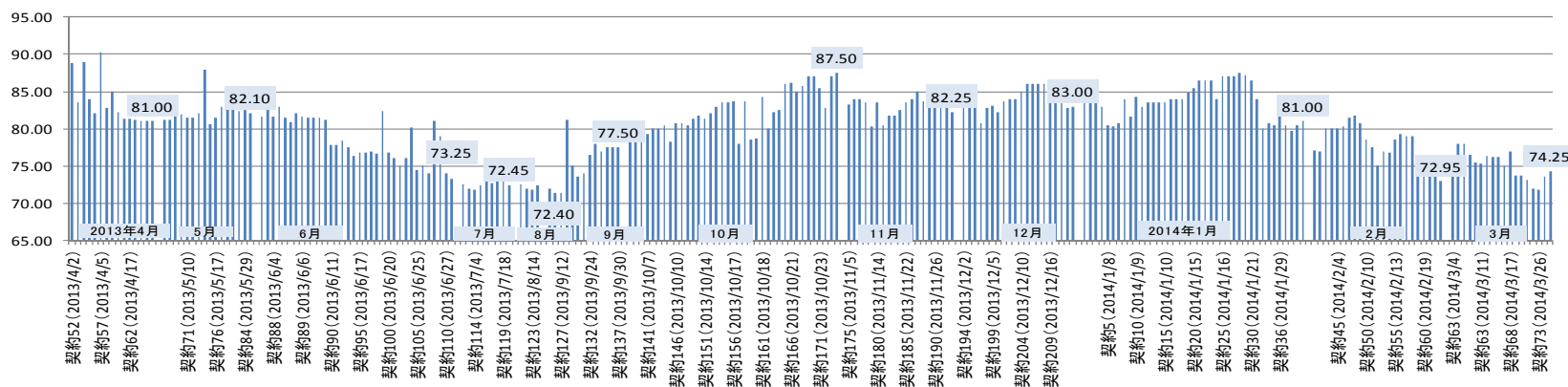
値動きの傾向もNCと似たものとなり、月毎の最終取引価格は10月87.50 US\$/トン、11月82.25 US\$/トン、12月83.00 US\$/トンと85 US\$/トンを若干下回るレベルで推移したが、2014年1月の後半以降には下降傾向が顕著となった。2014年1月に81.00 US\$/トンをつけた後、2月に入り急降下をはじめ同月の最終取引は72.95 US\$/トンにまで落ち込んだ。1月の最終取引と比較すると8.05 US\$/トンもの下落である。3月も最終取引こそ74.25 US\$/トンと2月の終値を上回ったが、3月を通じて低価格で推移した。

図 1. 豪州ニューカッスル (NC) 港積み成約取引価格 (実物)  
(2013年4月-2014年3月)



出所) globalCOAL 資料より作成

図 2. 南アフリカリチャーズベイ (RB) 港積み成約取引価格 (実物)  
(2013年4月-2014年3月)

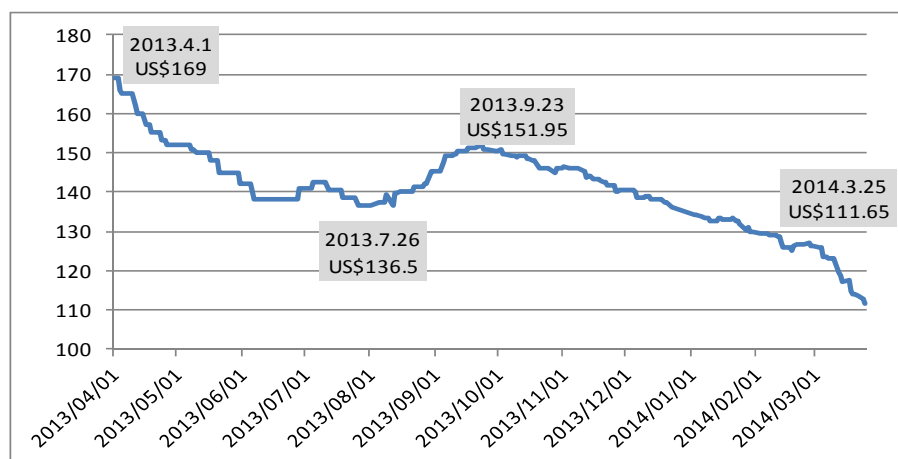


出所) global COAL 資料より作成

## (2) 原料炭スポット指標 (Index) 価格の動向

下図は CCQ(Coking Coal Queensland) Index の推移、つまり豪州東海岸 (クィーンズランド州) 出しの強粘結原料炭 Index 価格の日ごとの推移を示したものである。

図 3. Energy Publishing の CCQ(Coking Coal Queensland) Index の推移  
(2013年4月1日～2014年3月25日)



出所) Energy Publishing

2013年7月下旬～8月初旬の136.50US\$/トン～137.5US\$/トンを底として2ヶ月近くも上昇傾向を辿ったCCQ Indexであったが、9月下旬以降、再び下降に転じ、翌2014年3月25日には111.65US\$/トンにまで値を下げた。

この継続的なスポット価格の下降を受けて、わが国高炉向けQLD州産強粘結炭の2013年度における価格は、第3四半期(10～12月)の152US\$/トンから第4四半期(2014年1～3月)143US\$/トンと下落した。さらに2014年度第1四半期(4～6月)の値下げは厳しく120US\$/トンと、1年前に当たる2013年第1四半期(172US\$/トン)と比較すると52US\$/トンも値を下げるようになった。

## (3) 我が国着の輸入価格

### — 下がり続ける入着価格 —

表1. は我が国着の輸入炭価格の2013年12月、2014年1月、そして2月の3ヶ月間の価格の推移と、参考として2013年2月の入着価格を示したものである。

2014年2月の入着価格を\$ベースでみると、一般炭のみが1月と比べてわずかに反転上昇したが、全輸入量、原料炭、無煙炭は一貫した下げ傾向から抜け出ることができていない。

原料炭価格の下げ継続の原因は、上記のとおり2013年9月以降のCCQ Indexの継続的、かつ急激な下げ傾向、そしてこの下げ傾向を反映した我が国高炉向け価格の大幅な下落に

求められる。

という意味においてはわが国電力向けの2014年4月起こし価格の一挙5.60 US\$/トンの下げは、4月以降の一般炭入着価格を下方へ誘導することになるであろう。

また、2014年2月の入着価格を1年前の2013年2月と比較すると、全輸入量、原料炭価格、一般炭価格とも13-15 US\$/トン、無煙炭については23 US\$/トンも下落している。

表 1. 我が国着の輸入炭価格（2013年2月～2014年2月）

	(参考)2013年2月価格		2013年12月価格		2014年1月価格		2014年2月価格	
	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン	¥/トン	\$/トン
全輸入量	11,811	127.56	11,934	116.70	12,004	114.70	11,707	113.91
炭種別								
原料炭	12,936	140.98	13,374	130.78	13,490	128.90	12,939	125.90
一般炭	10,912	118.92	10,793	105.54	10,900	104.15	10,850	105.58
無煙炭	14,228	155.06	14,549	142.27	14,670	140.17	13,561	131.95
ソース別								
豪州	12,170	132.63	12,175	119.05	12,112	115.72	11,993	116.69
インドネシア	10,190	111.05	9,892	96.73	10,035	95.88	9,881	96.14
カナダ	14,595	159.06	15,172	148.36	15,774	150.72	14,397	140.08
中国	15,352	167.31	15,202	148.65	16,247	155.23	12,789	124.44
米国	13,710	149.41	15,121	147.86	15,899	151.91	13,635	132.67
ロシア	11,683	127.32	11,342	110.90	11,854	113.26	11,486	111.76
南アフリカ	9,834	107.17	-	-	11,573	110.57	-	-
ニュージーランド	-	-	15,649	153.02	-	-	-	-
ベトナム	13,656	148.82	14,897	145.67	14,118	134.89	15,015	146.10
モンゴル	20,995	228.80	-	-	-	-	790,000	7,687.06
モザンビーク	15,358	167.37	-	-	-	-	-	-
コロンビア	-	-	-	-	14,544	138.96	-	-
原料炭ソース別								
豪州	14,406	157.00	14,503	160.73	13,958	133.37	13,978	136.01
インドネシア	10,404	113.39	10,385	101.56	10,638	102.13	10,355	100.76
カナダ	16,999	185.27	17,433	170.47	17,106	163.45	15,793	153.67
中国	15,611	170.14	13,222	129.30	11,952	114.20	12,839	124.93
米国	15,969	174.03	16,437	160.73	17,751	169.61	15,233	148.22
ロシア	13,143	143.23	12,513	122.36	13,200	126.12	12,344	120.11
ニュージーランド	-	-	15,649	153.03	-	-	-	-
モンゴル	20,995	228.81	-	-	-	-	-	-
モザンビーク	15,358	167.38	-	-	-	-	-	-
一般炭ソース別								
豪州	11,227	122.36	11,128	108.81	11,208	107.10	11,200	108.98
インドネシア	9,956	108.51	9,085	88.84	9,223	88.12	9,220	89.71
カナダ	11,248	122.58	10,635	103.99	10,505	100.37	9,838	95.73
中国	13,019	141.89	12,929	126.42	12,425	118.72	12,478	121.42
米国	10,185	110.00	9,990	97.69	9,198	87.89	10,791	105.01
ロシア	10,558	115.06	10,612	103.77	10,711	102.34	10,642	103.56
南アフリカ	9,834	107.18	-	-	11,574	110.59	-	-
コロンビア	-	-	-	-	14,544	138.97	-	-

US1\$=¥91.76

US1\$=¥102.26

US1\$=¥104.66

US1\$=¥102.77

出所)「日本貿易統計月報」より作成

(参考) 我が国着の輸入炭年平均価格の比較 (2011年、2012年、2013年)

	2011年			2012年			2013年		
	価格		輸入量 1000トン	価格		輸入量 1000トン	価格		輸入量 1000トン
	¥/トン	\$/トン		¥/トン	\$/トン		¥/トン	\$/トン	
全輸入量	14,382	175.48	175,239	12,533	157.51	185,152	12,003	123.75	191,544
炭種別									
原料炭	18,238	228.07	68,659	15,183	190.81	71,483	13,620	140.43	77,041
一般炭	10,980	137.31	101,184	10,660	133.97	107,658	10,733	110.66	109,029
無煙炭	17,769	222.19	5,395	14,584	183.28	6,010	14,539	149.90	5,474
ソース別									
豪州	14,389	179.93	104,832	12,685	159.41	114,765	12,139	125.16	121,781
インドネシア	10,108	126.39	35,389	9,742	122.43	36,148	10,051	103.63	36,680
カナダ	19,367	242.18	9,644	17,048	214.25	9,871	15,374	158.51	9,867
中国	15,644	195.62	5,035	14,765	185.56	3,452	15,612	160.97	2,142
米国	20,439	255.58	6,273	18,867	237.11	6,277	14,967	154.31	6,645
ロシア	13,431	167.95	11,375	11,455	143.96	12,472	11,193	115.40	12,346
南アフリカ	11,793	147.47	616	10,036	126.13	424	10,061	103.73	466
ニュージランド*	20,502	256.37	418	19,314	242.73	189	16,974	175.00	144
ベトナム	18,931	236.73	1,313	14,872	186.90	1,109	15,372	158.49	1,022
モンゴル	272,500	3,407.53	0	20,332	255.52	50	21,004	216.56	28
モザンビーク	-	-	-	19,910	250.22	90	15,708	161.95	213
コロンビア	14,448	180.67	266	9,641	121.17	145	11,966	123.37	207
原料炭ソース別									
豪州	19,780	247.34	36,739	15,969	200.69	37,578	14,263	147.05	39,832
インドネシア	10,700	133.80	14,666	10,131	127.31	17,872	10,506	108.32	21,195
カナダ	21,955	274.54	7,347	19,116	240.23	7,438	17,040	175.69	7,443
中国	20,109	251.46	1,098	16,275	204.54	612	13,597	140.19	502
米国	21,456	268.30	5,725	20,202	253.89	5,461	16,955	174.81	4,806
ロシア	19,932	249.25	2,540	15,599	196.03	2,032	12,782	131.79	2,820
ニュージランド*	20,502	256.37	418	19,314	242.73	189	16,974	175.00	144
モンゴル	-	-	-	20,332	255.52	50	20,995	216.46	28
モザンビーク	-	-	-	19,910	250.22	90	15,708	161.95	213
一般炭ソース別									
豪州	11,360	142.05	66,763	11,032	138.64	75,955	11,055	113.98	80,130
インドネシア	9,689	121.15	20,726	9,382	117.65	18,275	9,428	97.21	15,486
カナダ	11,101	138.81	2,299	10,724	134.78	2,432	10,256	105.74	2,424
中国	11,753	146.97	2,530	12,057	151.53	1,584	12,762	131.58	536
米国	9,513	118.96	533	9,688	121.75	777	9,771	100.74	1,839
ロシア	10,808	136.28	7,513	9,948	125.03	8,066	10,307	106.28	8,000
南アフリカ	11,793	147.47	616	10,036	126.13	424	10,061	103.73	466
コロンビア	11,557	144.52	204	9,641	121.17	145	10,319	106.39	148

US1\$=¥79.97

US1\$=¥79.57

US1\$=¥96.99

上表は2011年、2012年、2013年の年平均価格と輸入量を示したものである。

2013年輸入の価格を2011年と\$ベースで比較すると、原料炭88US\$/トン、一般炭27US\$/トン、そして無煙炭は72US\$/トンも値を下げている。

同期間において、全輸入量は1,630万トンも拡大しており、特に原料炭輸入量は840万トンも増加している。原料炭の増=粗鋼生産量の増であるとする、アベノミクス効果による景気回復の兆候なのであろうか。また、一般炭も785万トンの輸入増加を記録している。

## 2. 2013年における主要国の輸出入量実績から変化・傾向を読む

## (1) 輸入国

## (1)-1 日本

下表は、2000年以降の我が国の石炭輸入量の推移を炭種別に示したものである。

表(1)-1-1 日本の輸入量（総量）

(単位:トン)

	一般炭	原料炭	無煙炭	合計
2000年	66,357,810	75,241,457	3,678,711	145,277,978
2001年	72,460,714	78,650,283	4,673,440	155,784,437
2002年	74,691,224	78,951,878	4,891,272	158,534,374
2003年	82,428,808	79,603,899	4,985,706	167,018,413
2004年	94,460,451	79,672,649	5,850,807	179,983,907
2005年	96,171,248	78,746,925	5,889,500	180,807,673
2006年	91,568,184	79,683,864	5,956,714	177,208,762
2007年	100,926,654	80,030,983	5,528,050	186,485,687
2008年	105,054,009	80,732,138	5,885,019	191,671,166
2009年	91,795,921	65,777,675	4,237,201	161,810,797
2010年	101,613,938	76,682,259	6,263,342	184,559,539
2011年	101,184,302	68,659,290	5,395,390	175,238,982
2012年	107,658,480	71,483,275	6,010,416	185,152,171
2013年	109,028,703	77,041,360	5,473,790	191,543,843

出所) 財務省「貿易統計」

- ・ 輸入量は2000年から2013年の13年間で4,627万トン増加し、うち一般炭の増加量は4,267万トンと増加量の92%を占めた。一般炭輸入量は2012年に続いて2013年も過去最高を記録した。
- ・ 一般炭の増加は、次表に見る通り、10電力会社+電源開発（Jパワー）による石炭消費量が同期間において3,128万トンも拡大していることが最大の要因である。特筆すべきは2000年には消費量ゼロであった東京電力と関西電力がこの10年間程度でそれぞれ641万トン、424万トンにまで消費量を拡大した。またJパワーが695万トン、中部電力が534万トン、九州電力287万トン、北陸電力224万トン、北海道電力は189万トン消費量を拡大している。
- ・ 原料炭の輸入量は6,500～8,000万トンの範囲内で当時の好不況を反映いしながら、増減を繰り返している。2012年、2013年も着実に輸入量を拡大したが、リーマンショックの前年に記録した8,073万トンには届かない。
- ・ 無煙炭は2000年以降も着実に拡大を続けてきたが、2010年の626万トンでピークを打ったように見える。

表(1)-1-2 わが国の電力会社による石炭消費量の推移

(単位:1000トン)

	北海道電力	東北電力	東京電力	中部電力	北陸電力	関西電力	中国電力
2000年	3,664	8,194	0	4,998	4,185	0	5,618
2001年	3,520	7,837	0	6,487	4,634	0	6,216
2002年	4,675	8,467	0	9,226	4,548	0	5,323
2003年	5,205	7,770	1,556	9,494	5,260	0	6,388
2004年	5,145	7,871	3,096	10,119	5,403	1,443	5,920
2005年	4,855	8,373	3,401	9,427	5,987	2,337	6,658
2006年	4,733	7,878	3,191	10,529	6,696	1,727	6,167
2007年	4,827	7,824	3,355	9,761	7,196	1,718	6,789
2008年	5,710	7,789	3,193	10,639	6,407	2,401	6,298
2009年	4,788	7,814	3,455	8,522	5,130	1,498	5,689
2010年	3,764	7,510	3,239	11,130	5,346	3,562	5,891
2011年	5,016	4,299	2,946	10,395	6,502	3,833	5,438
2012年	5,351	3,611	3,079	9,897	6,800	4,878	5,721
2013年	5,558	8,162	6,413	10,338	6,425	4,237	5,333

	四国電力	九州電力	9電力計	沖縄電力	10電力計	電源開発	10電力計+ 電源開発
2000年	2,504	3,399	32,562	788	33,351	13,846	47,197
2001年	2,883	4,358	35,935	833	36,768	15,303	52,071
2002年	2,427	3,515	38,182	1,230	39,412	16,511	55,923
2003年	2,812	4,132	42,617	1,529	44,146	18,568	62,714
2004年	2,542	3,902	45,440	1,693	47,134	18,841	65,974
2005年	2,958	4,487	48,482	1,773	50,254	20,775	71,030
2006年	2,681	5,373	48,974	1,819	50,793	18,728	69,521
2007年	3,091	5,114	49,676	1,746	51,422	20,362	71,784
2008年	2,828	5,571	50,833	1,963	52,796	20,594	73,390
2009年	2,763	5,836	45,495	1,865	47,360	16,255	63,615
2010年	2,373	5,423	48,237	1,898	50,135	21,025	71,160
2011年	3,146	5,946	47,521	1,905	49,426	20,924	70,350
2012年	2,884	5,626	47,845	1,857	49,702	21,593	71,295
2013年	3,180	6,272	55,919	1,764	57,683	20,792	78,475

出所) 財務省「貿易統計」



表(1)-1-3は、2000年から2013年における炭種別の輸入価格の推移を示したものである。

表(1)-1-3 輸入炭価格の推移

	一般炭	原料炭	無煙炭	全平均		為替レート
	(US\$/t)			(US\$/t)	(円/t)	(円/ドル)
2000年	34.68	39.79	37.39	37.40	4,015	107.36
2001年	38.38	41.52	37.69	39.95	4,832	120.95
2002年	36.64	42.30	37.03	39.47	4,958	125.61
2003年	34.55	42.05	39.06	38.26	4,454	116.41
2004年	50.93	62.39	54.70	56.12	6,077	108.28
2005年	62.17	92.55	90.19	76.31	8,367	109.64
2006年	62.50	96.06	82.09	78.25	9,096	116.25
2007年	69.54	90.85	84.79	79.14	9,333	117.93
2008年	120.81	191.62	187.74	152.69	15,915	104.23
2009年	108.47	174.02	139.35	135.93	12,712	93.52
2010年	106.76	158.16	157.14	129.83	11,436	88.09
2011年	137.31	228.07	222.19	175.48	14,033	79.97
2012年	133.97	190.81	183.28	157.51	12,533	79.57
2013年	110.66	140.43	149.90	123.75	12,003	96.99

出所) 財務省・貿易統計

- ・ 各炭種とも2004～05年、2008年、そして2011年に大きく価格の上昇を果たしている。
- ・ 価格急上昇の直接のきっかけは豪州やインドネシアにおける豪雨など自然災害であるが、順調な需要の拡大が背景に控えている。
- ・ 価格急上昇の後には、大幅な下落が待ち受けているが、2011年の価格上昇の反動は悲劇的ともいえるほどである。

## (1)-2 中国

表(1)-2-1 中国の輸入量（全輸入量（褐炭を除く））

(単位:1000トン)

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	88,194	59,535	28,659
インドネシア	68,023	68,455	-432
ロシア	27,251	20,183	7,068
モンゴル	17,330	21,727	-4,397
北朝鮮	16,540	11,873	4,667
ベトナム	13,111	17,416	-4,305
南アフリカ	12,742	14,277	-1,535
カナダ	11,975	8,363	3,612
米国	8,460	9,310	-850
その他	3,570	3,854	-284
合計	267,196	234,993	32,203

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 輸入量は1年間で3,220万トンも拡大した。うち、豪州からは2,866万トンも拡大した。

中国市場の大きさは驚くばかりだが、豪州の輸出能力ポテンシャルも同様である。

- ・ インドネシアからの輸入は若干の減。低品位炭輸入自粛が奏功か。インドネシアは輸出量を大きく拡大しているが、その多くはインド向けに。

表(1)-2-2 中国の輸入量（原料炭）

(単位:1000トン)

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	30,155	13,950	16,205
モンゴル	15,441	19,060	-3,619
カナダ	11,087	7,195	3,892
ロシア	8,447	4,798	3,649
米国	6,066	4,482	1,584
インドネシア	2,673	2,914	-241
ニュージーランド	562	682	-120
モザンビーク	456	208	248
ガザフスタン	237	0	237
その他	513	269	244
合計	75,400	53,558	21,842

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 中国の輸入拡大量の 2/3 は原料炭が。
- ・ 原料炭拡大分の 74%は豪州から。
- ・ モンゴルからの供給量は 362 万トンも縮小。モンゴルは原料炭輸出の拡大を計画、希望するが、中国以外への輸出はコスト的に難しく、暗雲到来か。

表(1)-2-3 中国の輸入量（一般炭（瀝青炭））

(単位:1000トン)

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	51,351	38,870	12,481
インドネシア	38,846	33,492	5,354
南アフリカ	12,362	12,582	-220
ロシア	5,522	6,652	-1,130
米国	2,233	4,299	-2,066
モンゴル	1,409	2,128	-719
カナダ	778	940	-162
コロンビア	328	2,484	-2,156
その他	222	45	177
合計	113,051	101,492	11,559

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 一般炭でも輸入量の拡大以上に豪州からの伸びは大きい。

- ・ インドネシアも輸出量を535万トンも拡大するが、豪州との差はさらに拡大している。

(1)-3 インド

表(1)-3-1 インドの輸入量（全輸入量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
インドネシア	98,313	71,890	26,423
豪州	32,877	30,118	2,759
南アフリカ	21,667	17,916	3,751
米国	3,997	5,929	-1,932
ニュージーラント	1,245	1,052	193
モザンビーク	1,050	789	261
カナダ	936	1,035	-99
チリ	857	0	857
ロシア	461	706	-245
その他	2,079	1,729	350
合計	163,482	131,164	32,318

出所) TEX レポート等より作成

- ・ インドネシアが最大の供給ソースであり、ほぼ1億トンもの輸入を。1年間で2,642万トンもの輸入の拡大が。低品位の石炭を安価で大量に供給ということか。
- ・ 豪州が2番目に大きい供給ソースであるが、インドネシアの1/3に満たない。

表(1)-3-2 インドの輸入量（原料炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	28,563	27,086	1,477
米国	2,879	3,227	-348
ニュージーラント	1,245	1,052	193
南アフリカ	1,113	1,127	-14
カナダ	936	909	27
モザンビーク	879	772	107
ロシア	170	139	31
インドネシア	122	280	-158
その他	52	237	-185
合計	35,959	34,829	1,130

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 豪州が最大の原料炭ソース。豪州からの輸入量の87%が原料炭。

## (1)-4 韓国

表(1)-4-1 韓国の輸入量（全輸入量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	50,451	45,765	4,686
インドネシア	36,686	37,995	-1,309
ロシア	15,251	12,729	2,522
カナダ	12,883	11,850	1,033
米国	6,060	6,726	-666
中国	3,181	3,946	-765
その他	1,996	6,523	-4,527
合計	126,508	125,534	974

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 全輸入量は97万トンの増加に留まる。原料炭、一般炭とも輸入量に大きな変化なし。
- ・ ただし、豪州炭の伸張が特徴的（原料炭、一般炭とも）。

表(1)-4-2 韓国の輸入量（原料炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	13,301	12,518	783
カナダ	6,451	5,605	846
米国	4,313	4,987	-674
ロシア	1,645	1,609	36
中国	314	485	-171
インドネシア	129	63	66
その他	198	437	-239
合計	26,351	25,704	647

出所) TEX レポート等より作成

表(1)-4-3 韓国の輸入量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
インドネシア	36,378	37,815	-1,437
豪州	33,425	30,331	3,094
ロシア	11,838	9,799	2,039
カナダ	6,433	6,246	187
米国	1,747	1,716	31
中国	1,412	1,115	297
その他	492	4,753	-4,261
合計	91,725	91,775	-50

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 輸入量はわずかに減少した。原子力の不調は天然ガス（LNG）でカバーしたようだ。

(1)-5 台湾

表(1)-5-1 台湾の輸入量（全輸入量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
インドネシア	28,231	29,629	-1,398
豪州	26,909	24,049	2,860
南アフリカ	6,120	5,168	952
ロシア	3,033	3,330	-297
カナダ	1,323	1,534	-211
中国	861	1,393	-532
モザンビーク	648	24	624
米国	340	162	178
その他	266	494	-228
合計	67,731	65,783	1,948

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 195万トンの拡大。
- ・ 豪州の比重高まる。

表(1)-5-2 台湾の輸入量（強粘結炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	4,945	4,010	935
カナダ	1,084	1,111	-27
インドネシア	0	181	-181
ロシア	0	27	-27
その他	700	190	510
合計	6,729	5,519	1,210

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 原料炭の輸入は121万トン（22%）拡大。
- ・ 拡大量の3/4は豪州から。

表(1)-5-3 台湾の輸入量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
豪州	21,569	19,793	1,776
インドネシア	14,142	12,683	1,459
南アフリカ	5,962	5,080	882
ロシア	2,713	3,363	-650
中国	833	1,062	-229
米国	303	331	-28
カナダ	87	71	16
その他	0	369	-369
合計	45,609	42,752	2,857

出所) TEX レポート等より作成

(2) 輸出国

(2)-1 豪州

表(2)-1-1 豪州の輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
日本	124,035	113,704	10,331
中国	87,821	62,859	24,962
韓国	49,801	45,845	3,956
インド	34,651	32,100	2,551
台湾	27,127	24,387	2,740
その他	34,598	37,207	-2,609
合計	358,033	316,102	41,931

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 輸出量は 4,193 万トンも拡大。中国への輸出拡大著しいが、最大の向け先は日本で変わらず。
- ・ アジアの主要な輸入国すべてに対し、着実に輸出を拡大している。

表(2)-1-2 豪州の輸出量（原料炭（強粘結炭））

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
中国	26,845	14,237	12,608
インド	24,970	22,986	1,984
日本	20,482	20,745	-263
韓国	7,988	7,301	687
オランダ	6,328	4,701	1,627
その他	18,590	20,303	-1,713
合計	105,203	90,273	14,930

出所) TEX レポート等より作成

- ・原料炭仕向け先ランキングに変化が。我が国は3位に。

表(2)-1-3 豪州の輸出量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
日本	82,336	75,242	7,094
中国	42,472	34,334	8,138
韓国	32,749	30,054	2,695
台湾	17,989	16,426	1,563
マレーシア	3,974	3,164	810
その他	8,637	11,842	-3,205
合計	188,157	171,062	17,095

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 拡大量的には中国が最大であるが、いまだ我が国の50%をわずかに超える程度。
- ・ インドはいまだ姿を現さず。

## (2)-2 米国

表(2)-2-1 米国の輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
英国	12,257	10,961	1,296
オランダ	11,529	12,285	-756
ブラジル	7,809	7,216	593
韓国	7,648	8,251	-603
中国	7,465	9,120	-1,655
日本	4,862	5,169	-307
その他	60,029	66,402	-6,373
合計	106,737	114,235	-7,498

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 輸出量は750万トンも縮小。特に、アジア向けに減少傾向が。

表(2)-2-2 米国の輸出量（原料炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
ブラジル	7,439	7,091	348
中国	6,114	6,244	-130
オランダ	3,948	5,253	-1,305
トルコ	3,937	3,323	614
韓国	3,626	4,366	-740
日本	3,624	4,579	-955
その他	30,895	32,389	-1,494
合計	59,583	63,245	-3,662

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 原料炭も太平洋市場が振るわず。

表(2)-2-3 米国の輸出量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
オランダ	6,891	6,545	346
英国	6,774	7,235	-461
イタリア	3,294	4,261	-967
ドイツ	2,591	2,529	62
日本	881	460	421
その他	14,176	20,176	-6,000
合計	34,607	41,206	-6,599

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 欧州向けも勢いが鈍化か。米国炭は何処へゆくのか。



(2)-3 カナダ

表(2)-3-1 カナダの輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
中国	11,124	9,877	1,247
日本	10,197	9,526	671
韓国	7,484	6,471	1,013
ブラジル	1,685	1,813	-128
インド	1,360	828	532
台湾	1,151	1,004	147
オランダ	911	1,458	-547
その他	6,542	6,133	409
合計	38,392	34,648	3,744

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 輸出量は着実に拡大。主力は下表にみるとおり原料炭。

表(2)-3-2 カナダの輸出量（原料炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
中国	10,651	9,565	1,086
日本	8,058	7,482	576
韓国	6,884	5,051	1,833
ブラジル	1,685	1,813	-128
インド	1,360	828	532
台湾	1,151	1,004	147
オランダ	911	1,458	-547
その他	6,382	5,986	396
合計	35,020	30,725	4,295

出所) TEX レポート等より作成

表(2)-3-3 カナダの輸出量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
日本	2,139	2,044	95
韓国	600	1,420	-820
中国	474	312	162
チリ	114	0	114
米国	45	21	24
その他	0	126	-126
合計	3,372	3,923	-551

出所) TEX レポート等より作成

(2)-4 中国

表(2)-4-1 中国の輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
韓国	3,303	3,662	-359
日本	3,020	3,989	-969
台湾	835	1,270	-435
北朝鮮	129	172	-43
その他	26	34	-8
合計	7,313	9,127	-1,814

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 2013年の輸出量減少の勢いは急で731万トンにまで縮小。原料炭は下表のとおり、111万トンに。

表(2)-4-2 中国の輸出量（原料炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
韓国	522	544	-22
日本	458	513	-55
北朝鮮	127	171	-44
その他	4	80	-76
合計	1,111	1,308	-197

出所) TEX レポート等より作成

表(2)-4-3 中国の輸出量（一般炭）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
韓国	1,324	1,160	164
日本	1,233	2,214	-981
台湾	835	1,147	-312
北朝鮮	2	1	1
その他	0	4	-4
合計	3,394	4,526	-1,132

出所) TEX レポート等より作成

(2)-5 ロシア

表(2)-5-1 ロシアの輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
中国	25,673	18,697	6,976
英国	24,028	20,165	3,863
韓国	14,669	12,197	2,472
日本	12,568	12,399	169
ウクライナ	10,714	10,947	-233
その他	52,989	54,843	-1,854
合計	140,641	129,248	11,393

出所) TEX レポート等より作成

- ・ アジア向け輸出拡大戦略が奏功か。

(2)-6 コロンビア

表(2)-6-1 コロンビアの輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
オランダ	15,556	15,293	263
英国	8,997	7,528	1,469
トルコ	8,163	9,175	-1,012
チリ	7,614	4,823	2,791
米国	5,405	5,585	-180
イスラエル	4,385	4,884	-499
ポルトガル	3,690	3,310	380
その他	20,949	25,020	-4,071
合計	74,759	75,618	-859

出所) TEX レポート等より作成

- ・ ストライキにより生産ふるわず輸出にも影響か。

(2)-7 モンゴル

表(2)-7-1 モンゴルの輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年 （推定）	2013年-2012年
総輸出量	18,400	20,960	-2,560

出所) TEX レポート等より作成

- ・ 中国に対する供給が減。あらたな輸出先はコスト的に見つけにくい。

(2)-8 南アフリカ

表(2)-8-1 南アフリカの輸出量（全輸出量）

（単位：1000トン）

	2013年	2012年	2013年-2012年
総輸出量	70,235	68,341	1,894

出所) TEX レポート等より作成

(以下次号に続く)

お問い合わせ:report@tky.ieej.or.jp